

<p>人と魚と海のネットワーク 香川県漁連ホームページ http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/ E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp</p>		<p>JF 高松市北浜町 8 - 25 TEL 087-825-0350 J F 香川漁連 FAX 087-851-0699</p>
---	--	---

小田・鴨庄・志度漁協で合併推進協議会が設立される！

平成 15 年 9 月 22 日(月)午後 3 時からさぬき市の小田漁村センターにおいて、小田漁協、鴨庄漁協、志度漁協は、それぞれの漁協の役員代表と香川県水産課、さぬき市役所の担当職員など、関係者約 30 名が出席するなか、合併推進協議会を設立するとともに第 1 回協議会を開催し、毎月 1 回の協議会開催、職員による事務局会の設置などにより、平成 17 年度を目標に合併協議に入ることと合意した。

ここに至るまでの経緯として、旧志度町地区の 3 漁協は、魚類養殖やのり養殖など養殖業を中心に発展してきたが、漁業者の減少・後継者不足など、漁協を取り巻く環境が一段と厳しさを増すなか、漁協基盤の強化が喫緊の課題であるとの認識で一致し、平成 11 年 1 月 28 日に合併推進協議会を設立、2 回の協議会を開催し、鋭意協議したものの、具体的進展が見られず、平成 13 年 7 月 30 日に解散した。

しかしながら、近年の養殖魚の価格低迷、昨年ののり養殖の不振、さらに組合員の急激な減少等により、今後漁協経営基盤の更なる悪化が懸念されるなか、現状に強い危機感を持った 3 漁協は、新たな協議会の設立にこぎ着けたものである。

協議会の名称：小田・鴨庄・志度漁協合併推進協議会
 会長：松岡小田漁協長
 副会長：山本鴨庄漁協長、松原志度漁協長
 委員：3 漁協役員各 5 名 計 15 名

本県における合併推進協議会の設立は、昨年 10 月の三崎・大浜漁協合併推進協議会の設立以来 1 年ぶりであり、既存の協議会は全て合併を成し遂げたことから、推進室としては積極的に当地区の協議の進展に協力するとともに、新たに東讃地区、高松地区及び中讃地区等で合併推進協議会を立ち上げるべく取り組んでいるところである。

一方、国においては、漁協合併促進法が、期限切れを目前とした本年 3 月末、関係者の努力により、平成 20 年 3 月までの 5 力年間の延長が実現したところであり、本県においても、これを契機に、当面

の目標であった「1 市町 1 漁協」から、より広域的な「地区ブロック単位の県下 5 漁協」或いは「ブロック内複数認定漁協」、さらには 1 県 1 漁協も視野にいれ、漁業者や関係者とも議論を進めながら、新たな合併全体計画の策定についても取り組んでまいりたい。

(組織強化推進室)

平成 15 年度第 1 回漁業技術研修会・漁業士会開催

「平成 15 年度漁業技術（海苔養殖部門）研修会」（主催：香川県、香川県漁連、香川県信漁連、(社)香川県水産振興協会）が、9 月 17 日(水)午前 9 時 30 分から県民ホール北館 5 階多目的会議室「玉藻」で開催され、県下のノリ養殖業者、漁協職員、その他関係者 144 名が参加した。

講師には、独立行政法人水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所赤潮研究部有害プランクトン研究室長 板倉 茂氏を招き「珪藻赤潮の発生機構について」をテーマに講演・意見交換が行われた。



熱心に研修する参加者

題目：『珪藻赤潮の発生機構について』

1) 珪藻類について

珪藻類は、非常に広範囲な環境（温度、塩分、pH、BOD 等）に分布域を拡大しており、それぞれの環境により生息する種が異なっている。珪藻類は種類が多く、1 万 2 千～10 万種ともいわれているが、その分類は、細胞を覆う珪酸質の殻の構造や模様により行われている。殻の対称性により、円形や多角形を呈する中心目珪藻と、細長い羽状目珪藻の 2 グループに分けられている。珪藻類は、一次生産

者として非常に重要な役割を持っている。

2) 有害珪藻について

これまで我が国では、珪藻が原因となる貝毒及び魚類斃死について特に問題となったことはないが、珪藻類が生産する粘質物によって漁網の詰まりを引き起こす「ヌタ」現象や、珪藻類の過剰な栄養塩消費によって養殖ノリの生育が阻害される「ノリの色落ち」現象が度々報告されている。

有害赤潮プランクトン(魚類斃死、貝毒等)としては、渦鞭毛藻類(渦鞭毛藻、ラフィド藻等)が知られているが、水産業に被害を与える珪藻類に関しては情報が少ないのが現状である。

3) 珪藻赤潮の発生機構について

沿岸域で発生する珪藻類には、休眠期細胞(休眠孢子若しくは休眠細胞)を形成する種と、休眠期細胞を形成せず環境変動を利用して消長を繰り返す種があると考えられている。

休眠期細胞を形成する珪藻類は、発芽可能な水温域が広いことため休眠期間が短く、時期を問わず珪藻赤潮として観察されているが、比較的大型の珪藻類については、海水の鉛直混合が活発な冬季が中心である。

また、珪藻類の休眠期細胞の発芽には一定強度以上の光照射が必要であり、珪藻赤潮の発生には海底泥中に存在する休眠期細胞が巻き上げられる等の海水の擾乱が関係していると考えられる。

4) 今後の課題

珪藻赤潮による被害を軽減・防止するためには、今後さらに珪藻類の分類・生理・生態学的研究を推進し、珪藻赤潮発生機構の解明、赤潮発生予測、被害防除技術の開発を行う必要がある。そんな中で、細胞を破壊するウィルスを発見する(珪藻リゾソレニアの数種類には、細胞を殺すウィルスが見つかった。)ことは、有効な方法であると考えられる。

研修会終了後、漁連会館 4 階第一会議室において、第 1 回漁業士研究会(海苔養殖部門)が、漁業士 11 名と板倉先生他出席のもと開催された。

主なテーマは、午前中の漁業技術研修会で講演のあった「珪藻赤潮の発生機構について」の他、ノリの色落ち対策等がフリートーク形式で行われた。

香川のノリ漁期中にみられ色落ちの原因種とされる、ユーカンピア、コスキノディスクス、タラシ

オシイラ等について、漁期中の動向に注意するとともに、これらの細胞を殺すウィルスの発見に期待したい等の活発な意見が交わされた。

赤潮注意報を解除

香川県魚類養殖業赤潮対策本部(本部長:服部県漁連会長)は9月17日、今後海水温の降下とともに赤潮発生の可能性が低くなったとして、県海域に発令中の赤潮注意報を解除した。

今夏、同本部は6月27日に赤潮注意報を発令、その後シャットネラが増えたため6月30日に大槌島・小槌島を見通した線以东に赤潮警報を発令した。

その後、いったんシャットネラの数が減ったため、7月7日に一部地域を残して注意報に切り替えられたが、再び増加したことから7月11日に再度大槌島・小槌島を見通した線以东に赤潮警報が発令された。7月22日に注意報に切り替えられたが、この間に播磨灘でハマチ、カンパチ合わせて29万尾のへい死被害が発生した。

キスについて

キスは、日本の温帯域の砂浜海岸ではごくふつうに見られる魚であり、パールピンクでほっそりとした姿、とがった口先が特徴、うろこは櫛鱗ではがれ難く、側線上には70~73枚のうろこが並ぶ、性格は繊細かつ臆病で、近くで物音がするとさっと砂にもぐって身を隠します。体は肌色に近い淡黄色で、腹方にいくにつれて乳白色になる。東京ではマガス、西日本各地ではキスゴと呼ばれている。

産卵期は5~10月、沖合から沿岸の水深5~20mの海底に移動して産卵する。水温20℃を越える頃から産卵を始め、25℃前後が適水温と推測される。産卵は主に日没直後から真夜中にかけて行われる。全長20cmの固体で産卵数は1万~2万粒、1産卵期間中に100回前後の産卵をする。仔稚魚は6~10月に沿岸各地で観察される。生後1年で全長10cm、2年で14cm、3年で20cm前後に成長する。生後1~2年で成熟し始め、寿命は5~6年、肉食でゴカイなどの多毛類や甲殻類、貝類、昆虫類など雑多な底生動物を食べる。水温が15℃を下回ると、摂餌活動が不活発になる。

漁法としては刺し網、小型底曳網、定置網などで漁獲される。また、特に初夏から夏にかけては砂浜からの投げ釣り対象種として、また、船釣りに人気があり手軽に釣れる美味しい魚として、老若男女を問わず親しまれている。

食べ頃は春から夏。透き通るような白身でさっぱりした味であるが、軟らかい小骨が多い。料理は刺身、塩焼き、酢の物、すまし汁といった和風物から、油を使った空揚げ、天ぷら、フライにもされる。また、すしの具、高級かまぼこの原料になるほか、小さいものは開いてみりん干にして珍味にする。



キスの塩焼き

10月5日は買い物袋持参デー！

買い物袋の持参など環境にやさしい買い物運動を推進する「ネットワーク グリーンコンシューマーかがわ」（会長：関 義雄 香川大学経済学部教授）では、10月を環境にやさしい買い物月間と定め、スーパー等での店頭キャンペーンや広報媒体を使つての啓発活動を実施しています。

特に、今年度は、10月5日を「買い物袋持参デー」として、特に買い物袋の持参によるレジ袋の削減をターゲットにした啓発をすすめます。

本県のふだんの買い物袋持参率は、3パーセント。（6月8日調査）今回は、事業者のご協力をいただき、キャンペーンを実施しており、持参率をどれだけ伸ばすことができるかが課題です。

- 1 実施日 平成15年10月5日(日)
- 2 対象店 県下の主なスーパー、生協、百貨店、ホームセンター、クリーニング店等約700店舗
- 3 内容 10月5日を「買い物袋持参デー」として設定し、買い物袋持参によるレジ袋の削減を推進します。
- 4 特典 買い物の際に買い物袋を持参するなどしてレジ袋を断ると、この日は特別に「エコちゃんカード」(10月1日か

ら12月20日までの間で実施する「レジ袋を減らそうキャンペーン」における共通スタンプカード)へ、2個スタンプを押印してもらえます。また、買い物袋持参者に対して個別に特典を設けている店舗もあります。

- 5 その他 当日は、第2回目の「買い物袋持参率 全県調査」を県下の主なスーパー、生協46店舗で、県下の消費者団体・グループの協力を得て実施します。前回は、6月8日に調査。全県平均持参率は3%でした。

ニューフェイス紹介

(敬称略)

アンケート項目

- 生年月日
- 出身地
- 出身学校
- 趣味

高松市東部漁協

坂口 美千恵

昭和36年1月22日

高松市木太町

志度商業高等学校

映画鑑賞

主な行事予定(10/1~10/31)

- 10月1日(水) 棚卸監査
- 2日(木) サワラブロック漁業者協議会
- 5日(日) 第23回全国豊かな海づくり大会 島根大会
- 7日(火) 漁協女性部リーダー事務局担当者合同研修会
- 28日(火) 職員協漁協簿記実務研修
- 30日(木) 職員協漁協簿記実務研修